



特定非営利活動法人あおばの会
八戸あおば高等学院

第 11 回 全国スポーツ流鏝馬八戸大会 御礼

令和 8 年 8 月 11 日（火・祝）に開催されました標記大会にて、本学院のブースを出展し、生徒とともに活動することができました。また、奉納立射演武も披露させていただきました。台風がせまる悪天候の中ではありませんでしたが、思い出に残る 1 日となりました。

本学院は、平成 25 年に星槎国際高等学校と提携し設立した「青森県教育委員会指定技能教育施設」です。通信制高校の機能的な部分と、毎日通える環境を備え、「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」の 3 つを約束事とし、現在 29 名が在籍しております。

さまざまな原因で不登校を経験したり、既存の学校になじめなかったり、いまの環境を変えたい（通っている高校を転校したい）生徒などを主な対象としております。

ゆるやかな学習カリキュラムの中で、さまざまな体験活動を通して自己効力感や成功体験の積み重ねを重視しております。特に、令和 5 年度より「八戸弓馬会あおば道場」を開設し全国初となる「スポーツ流鏝馬コース」を設け、常日頃、弓に触れることができる環境になっております。

～ 普段の活動風景 ～



大会当日のあおば学院ブースでは、手作りレジン作品や射的コーナーなどを行いました。学院で勉強する「商業科目」との関連も見い出し、生徒にとって有意義な体験をすることができました。あわせて、チャレンジマッチにも初めて複数生徒（２名）が出場することができました。

今後とも本活動の継続および学院生徒たちの経験値や自己効力感向上のため、大会へのご支援ご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

<生徒感想（一部）>

私は３年間この大会に関わり、いろんな思い出ができました。ブースでお客様に対してどのような対応をすればより売り上げにつながるか、多くの観客の前で立射演武を行うなど、貴重な体験をすることができ、財産になりました。卒業後はスポーツ流鏑馬大会などで得たことを発揮していきたいと思っています。ありがとうございました。

３年 T. Y

今回は天候には恵まれませんでしたでしたが、今年は立射演武の射手と口上を述べる役を務めました。人前で弓を引いたり、司会をしたりと、普段できない経験をする事ができました。たくさんのボランティア、そして協賛もあって作り上げていく大会であることが感じられ、流鏑馬やブース出展での販売などはもちろんのこと、多くのことを学ぶことができました。実体験にまさるものはないと感じています。ありがとうございました。

３年 K. R

普段、学院では弓の練習を行っています。この経験を生かす場として、奉納立射演武をする機会をいただけたこと、ありがとうございました。当日は大雨の中での決行となりましたが、全員で成功させるぞと士気を高めて望むことができました。生徒として参加するのは最後ですが、来年以降は一人の観客として、周りの友達も誘い、多くの人に流鏑馬の魅力を知ってもらいたいと思います。

３年 S. A



選手として出場



奉納立射演武の様子



ブースの様子

<本件担当> 八戸あおば高等学校
事務局長 白山 拓 弥
TEL 0178-22-3470
FAX 0178-22-3475
Mail info@hachinohe-aoba.com